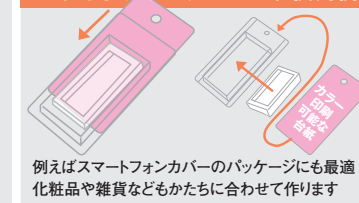


▶注文から納品までの流れ

- ①お打ち合せ
まずはお要望をじっくりとお聞かせください。
- ②お見積もり
お見積もりは無料です。
- ③試作・設計
自社設計が吾孀製作所の強み。ニーズにきめ細かく対応します。
- ④3D CAD/CAM
による型製造
真空成形用の型をつくります。
- ⑤シートをセット
真空成形の素材はロール状または板状のプラスチック。
- ⑥真空成形加工
多様な材質・形状に合わせ、ベストの条件で加工します。
- ⑦真空成形した部分をカット
この工程は機械が行います。
- ⑧さらに手作業で細かくカット
機械ではカットできない複雑な部分は手作業でカットすることもあります。
- ⑨梱包
大切な商品を丁寧に梱包します。
- ⑩発送
お客様の元へ届けられます。



勤合式プリスターバック使用例



これぞ究極のトレー！ 使いやすさを とことん追求！多彩な オーダーに応えます。

お客様から依頼される部品や製品は、形も大きさも素材も実にさまざま。それらをいかに効率よく、使いやすく、安全に搬送できるトレーに仕上げるか。毎回提示されるさまざまなお題に、技術力と提案力をとことん駆使し“一問一答”！ベストな答えを導きます。

どんな商品も ぐぐっとよく見える。 魅せるパッケージで 売上げアップに直結！

中に入れる商品にあわせて自由に立体成形できる、デザインできる。カラーリングもできるし、台紙を入れれば商品ロゴやメッセージも印刷できる。プラスチック真空成形はパッケージ分野でも力を発揮！魅力アップ、売上げアップに貢献します。

立体POPで 宣伝効果もバツグン！ 商品プロダクトも 共同開発いたします。

ポスターや看板が3Dのような立体になると、あっと驚くアートになり注目度もアップ！複雑な金型は手作業でつくるため、どんな形でも立体加工が可能です。また、真空成形での共同プロダクト開発など、デザイナーとのコラボ分野でもお力になります。



プラスチックで、
“一問一答”。

会社概要

代表者：代表取締役 松村征治

創業：大正13年

設立：昭和29年4月

資本金：1,000万円

事業内容：真空成形加工、金型設計製造、エンボス加工

沿革

大正13年 松村製作所として立花にて創業

昭和13年 吾孀製作所に名称変更

昭和29年 有限会社吾孀製作所として改組

昭和39年 真空成形にてアイスクリーム容器を製造販売

昭和54年 金型製造部新設

昭和58年 自動シリンダープレス機販売開始

平成6年 株式会社吾孀製作所に改組

平成10年 本社隣地に新工場新設

平成12年 NCマシニングセンタ、CAD/CAM導入

平成17年 3D CAD/CAM導入

平成22年 3D CADソリッドワークス導入

プラスチック真空成形加工

あずませいさくしよ

株式会社 吾孀製作所

〒131-0043 東京都墨田区立花 4-5-7

Tel.03-3617-0021

Fax.03-3612-3515

ホームページはこちら

<http://azmas.co.jp>

真空成形加工 吾孀製作所 検索

QRコードからもアクセスできます▶



吾孀製作所が考えていること

吾孀製作所は大正13年、ここ墨田の地で金属加工業として創業しました。プラスチックの真空成形を始めたのは昭和39年頃から。金属加工で培った技術をもとに、金型づくりからプラスチック成形品の量産まで、自社で一貫生産できるのが我々の強みです。私どもの念頭にあるのは「何でもやってみよう、挑戦してみよう」という気持ち。そうして一つ一つ答えを出してきたことが、現在の技術力・発想力につながっているのかもしれない。今後どのような未知の可能性を切り開いていくことができるのか、楽しみです。



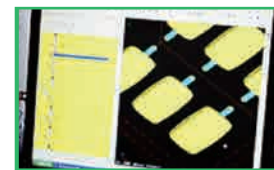
株式会社吾孀製作所 代表取締役 松村征治



ものづくりの街・墨田で、これからも

東京スカイツリー®のお膝元・墨田区は、昔から町工場が多く点在するエリア。日本のものづくりの原点を思わせる活気と人情があふれています。そんな墨田の気風を支える一企業として、これからもこの地で皆さまと歩んでいきます。

何でもやってみようの精神で、今がある。



3D CAD/CAM で型設計

3D CAD/CAM を使い自社で金型設計できるのが我が社の強み。同時 3 軸制御での高精度な加工で、ご要望を着実に形にします。



10台の真空成形機がフル稼働

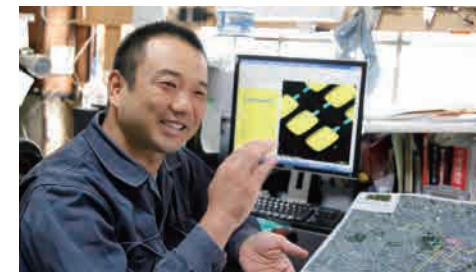
10台の真空成形機が少量多品種の生産を実現。金型切削用NCマシニングセンターも備えています。



決め手は発想力と提案力

お客さまのご要望にベストな答えを導くため、社員一人一人がアイデアと提案力に日々磨きをかけています。

僕らの仕事は、まずお客さまとディスカッションして、どんな要望があるのか子細にきみ取ることから始まります。そうしたうえで、もっと工夫はできないかと常に考え、お客さまに満足していただけるものづくりを心がけています。僕自身、四代目の経営者になるため、現場に立ちながら修業中です。長年培ってきた事業はしっかり継承しつつ、たとえばデザイナーさんとの共同開発プロダクトなど、プラスチック成形の新しい可能性ももっと追求していきたいですね。



株式会社吾孀製作所 専務取締役 松村昌幸

次の時代のプラスチック真空成形の可能性。